



あなたの声をリレーする



あけましておめでとうございます
やりがい、いきがい。たかがい!

特集

リモート取材大成功!
自由民主党 政務調査会副会長に就任された、
たかがい恵美子議員を特集します



**2020年度名誉会員
おめでとうございます。**

薄井公子さん(前いわき地区幹事)

CONTENTS

- たかがい恵美子参議院議員特集
 - 新年あいさつ 日本看護連盟会長 大島敏子
 - 新年あいさつ 福島県看護協会会長 今野 静
 - 新年あいさつ 衆議院議員 あべ俊子
 - 参議院議員 石田まさひろ
 - 衆議院議員 木村やよい
 - 研修等報告
 - 連盟クイズ
 - スローガン お知らせ
- 本内会長挨拶 P2~P7
- P8
- P9
- P10
- P11
- P12



たかがい恵美子議員をご紹介

自由民主党政務調査会副会長



たかがい恵美子議員の



参考:たかがい恵美子議員著書
「ナイチンゲール・スピリットで行こう
～成熟社会を作る看護力」（太陽出版）

幼少期

「子供時代の三つのスペシャル」

自身の先天性股関節脱臼・兄の死・賑やかな大家族
数々の経験により「一人ひとりを大事にすること」の大切さに目覚める



看護師を志す

「生きる力を守る 看護のプロになりたい」

医師不在の医院で、祖母の額を処置してくれた看護師さんのやさしさに
「世の中には、人の気持ちをこんなにも楽にさせる仕事があったんだ!」との思いを抱く

本内 敦子

福島県看護連盟
会長



「感」という言葉を使う熟語には、「感情」「感性」「感激」「感動」などたくさんあります。「感」という言葉の意味は、対象から受ける印象のことです、感じることであります。

昨年は、この「感」という文字を意識した1年でした。

詩人で書家の「相田みつお」の名言に「感動とは感じて動くと書くんだなあ」と書いた力強い文字があります。深く感じて心を動かすことでの文字通りの意味です。

人は、感情の動物と言われており、人間社会は喜怒哀樂があり、時につらいこと、悲しいこと、そしてそれを乗り越えて喜び、楽しさがあります。そして、人間関係の中で影響するのが、誰もが持つ長所、短所がありますが、「人のいいところをいっぱい見つけると見つけたあなたが幸せになります」という言葉があります。

できるだけ長所を見つけ、相手を受け入れようとすると、相手の心は開くものと私は思います。しかし、人はなかなかいいところよりも、悪いところだけが見えるものです。自分を振りかえって見ますと、自分が自覚している短所で、相手の心を傷つけたり、逆にその短所を仕事に生かしたりしたこともあったように思います。

人を動かすにはやはり相手を受け入れようとする心が大事で、そうすれば話し方も変わり、コミュニケーションがとれるものだと思います。互いに心を開いてわかりあおうとすることで感動が生まれてくるのではないかでしょうか。

今年は、できるだけ感動の場をつくる努力をし、仲間たちと頑張って活動したいと考えています。

今年の一文字

感

看護師として

「外科病棟の看護師として」

未告知時代のがん看護 ターミナル・ケア ペインコントロール
等を経験。その中で病や障害があつても家族にとつてはかけがえのない一人。
そうした当たり前の感覚を思いやる気持ちがどんなに大切なのかを気づかされる。



保健師として

「保健所保健師として活動」

患者会・家族会のテーマソング 作詞・作曲:高階 恵美子
「生命(いのち)」を作る(くわしくはP5をご覧ください)

人生(いのち)

1. たとえはしれなくても
だれよりも 心躍ることを知りました
あなたの力強さとの出会いで
ありがとう ありがとう
あの眼のかがやきを 君と私の胸に
今こそほんとうに 人生 愛せそうです

行政に携わる

「厚生労働省 看護系技官としての仕事」

看護実質配置:7対1、10対1、13対1、15対1
自治体保健師の倍増計画の作成に携わる

議員を目指して…

リモートインタビュー(次ページ)に続く

たかがい恵美子

自民党政務調査会副会長、参議院議員



謹んで初春のお慶びを申し上げます。福島県看護連盟の皆様には日頃より大変お世話になっております。看護職の皆様並びにご家族の皆様におかれましては、昨年来の感染症有事への対応等、公私ともに大変なご負担をおかけしております。

厳しい自制と自粛を続けながら、いのちの最前線で国民の生命と暮らしをお守りいただいていることに、心から感謝を申し上げます。

昨秋より政調副会長として、主に厚生労働及び文教科学スポーツ分野の政策を担当するとともに、新型コロナ対策本部副本部長として現下の感染症有事対策とガバナンス態勢の構築に携わり、また行政改革推進本部役員として菅政権が進める規制緩和とデジタル化推進に関する与党の政策提言とりまとめに関わらせ

ていただいております。

人々に幸せを運ぶ看護職の笑顔を守り、一人ひとりが存分に役割を発揮できる環境を実現すべく、本年も鋭意努力して参ります。リモートワークやデジタル化が進展したように、コロナ禍が収束した後「災い転じて福となす」といえるようピンチをチャンスに変える!前向きな気持ちで尽力いたします。皆様にとって、いのち輝く健やかな年でありますようにご祈念申し上げます。



すてきな高階ブルー

担当／岩崎広報委員

たかがい議員の
ふだんの生活を
伺つてみました。

Q.お休みはありますか？

A 国会議員に決まった休みはなく、その点では自営業の働き方と似ているかもしれません。私は現在、参議院で4つの委員会等(予算委員会、文教科学委員会、資源エネルギーに関する調査会、東日本大震災復興特別委員会)に所属しています。会期中は本会議に加え、これらの委員会等が各自に審議日程が調った段階で開会されます。また党の仕事は一年を通して進められます。国民生活に直結する課題を調査分析し新たな政策を立案することや諸制度が安定的に運営されるよう財政基盤を確保すること、災害等不測の事態への迅速な対応など地道な積み重ねが続けられています。同時に議員として期待される政治活動があり、幅広い業種や国民各層からの陳情や相談への対応、各地での講演や各級選挙の応援も行います。そういう感じで、日程はいつもギリギリまで確定せず、振り返るとスケジュール表は見事なモザイク模様になっています。政治の現場では、その場にいたって急遽変更する場合でも動搖せず優先事項に対処していくことが求められます。私は医療職だから走りながら判断することに抵抗はありませんが、決まった休みがなく長期休暇は無理でプライベートの約束も難しいことに馴染めないと仰る議員もおられます。そうしたことが理解できれば、以前よりも隙間の時間を見つけることが上手になったように思います。

Q.忙しい中で、おしゃれはどのようにされていますか？

A 自由な外出機会が限られると日用品の補充も工夫しますよね。衣類は年二回ほどバーゲン時期に必要なものを揃え、足りないものは出張時に通りすがりで購入しています。最も大事なのは清潔感だと思います。人と接する際の心くばりは端に出やすいので、とくに靴・指先・頭髪・首周りを意識しています。

Q.クールビューティ「たかがいブルー」についてお聞かせください。

A 不思議なことに以前から、いざ勝負という時には青を身に付けていました。実は白が1番好きなんですが、白ってカラーではないらしく…。花嫁衣装が白なのも白衣が白なのも、しっかり相手の気持ちをくみ取つてあなた色に染まりますという意思表示なのかもしれませんね。白や青は心が落ち着くようです。黒も好きですが、私の政治活動を象徴するイメージカラーとしては、クールに攻める青が最もしっくりすると思います。



<取材メモ>

広報委員として、リモートインタビューは初めての試みでした。「うまく質問できるか」不安の中でのスタート。しかし、あつという間の90分でした。

「たかがい議員のイメージカラーは青、青はクールビューティー、強い凛とした情熱を感じますが如何ですか？」の問から生まれた、ウイリアム博士(東京医科歯科大学医学部時代のご友人)の思い出話(今回は未掲載)

が印象的でした。

「青はロマンティックな愛の色、深い闇が解けていく夜明けの色」

今はガーナの野口医学研究所の責任者になられたウイリアム博士の言葉だそうです。奇しくも、11/16取材の日はいい色の日です。いろいろな偶然がこの取材を有意義な温かい時間にしてくれました。

看護に関わる色々なこと

担当／矢野広報委員長

Q.政策理念「成熟社会・日本」とありますが、今足りないものは何でしょうか？

A 日本人はもう少し自信を持つていい！と思います。みんな頑張ることは上手にできているのですが、一方で、ここまで頑張ったね！と自分を認める「自己効力感＝セルフ・エフィカシー」は少々低めです。現下の感染症有事においては地域・世代・業種など様々な場面で対立が生じています。医療現場でも感染症対策にあたっている部署とそうでない部署間でのギスギスした感じ、清掃等の業者引き上げ後にそれらの業務が看護職へ振り当たられるなどの問題がありますし、妻の職業を理由に夫が理不尽な配置換えにあつた、児童の通園停止を要請されたなど、心が痛む出来事があります。思わず同僚や身近な人を口汚い言葉で罵ってしまい、無意識のうちにイライラが溜まっていたことに気づいて落ち込んだという方もおられます。これからは100年に及ぶ自分自身の人生設計を組み立てる時代がやってきます。現実には思うように行かないことが多いわけですが、その年代や場面に応じてひとり一人が「自分にできる事は何か・どうしたいのか」を考え、自分なりの自信を持ちながら前へ進むようになれたら気持ちが軽く楽しくなる。自分や周囲の仲間を大切にして励まし合い、充実した生き方を目指すことが成熟した時代の姿だと思っています。この感覚は、今を生きるひとり一人がしっかりとハートに落とし込んで欲しいし、何歳からでもできることですね。

Q.バイタリティーの源は何ですか？

A 感謝する気持ちを忘れないという事！です。感謝の気持ちが次に向かう勇気になり、原動力になると思います。

Q.「人生(いのち)」を作詞・作曲をされたきっかけを教えてください。

A 保健師時代、ともに活動した仲間へのエールです。地域保健の現場では、一定のエリアや業務分野を担当することになるので、基本的には365日それらの健康保持増進に責任を持つ構えで働きます。たくさんの患者会・家族会をつくり一緒に作業もしました。疾病や障害を受容し自分らしく地域で暮らしていくとする方々と併走している感じ。そうした同志が一緒に口ずさめる歌は発声練習になるし心の拠にもなるかなと。一番は脳卒中後遺症の方々と「走れなくても心は踊れる」、二番は精神疾患の回復者と「話せなくても熱い思いは伝えられる」、三番はすべての人々と「険しい道でも生きる勇気を知ることができる」と確認し合った、そのままを歌詞にしました。それぞれ、力強さ・優しさ・微笑みとの出会いに感謝する構成です。何か寄り添えるものが欲しかったのかも知れません。歌い始めたら、これは自分たちの歌だ！と愛着が湧いて、作業所の売り上げから余剰分を少しづつ貯金し数年かけてCDが自費出版されました。ジャケット「人生(いのち)」は、脳卒中を患った元町長さんが麻痺した利き手を使って、思いを込め書いてくれました。

Q.ネガティブ3K(きつい・きたない・きびしい)からポジティブ3K (賢く・健康的で・確実に仕事する)発想の転換について教えてください。

A ポジティブシンキングは幼少期の体験が大きく影響していると思います。重度の先天性股関節脱臼で手術し、障害を抱えながら成長しました。嫌なことや辛いことを考えていても何も変わらないし誰も変えてはくれない、それが現実でした。異なる者を差別しそれとなく取り除こうとする傾向や訳もなく弱い者に向けられる冷ややかな視線は、小さな子供でも敏感に感じ取ることができます。他の人と違っていても、あなたはそのままで素晴らしい存在だと受けとめて、いつも変わらずに励ましてくれたのが両親でした。マイナス面にはばかりとらわれず、プラス面を見つけて伸ばしていく、そんな教育方針で育てられました。本当にありがとうございます。いつの間にか、見果てぬ夢を追って無謀な挑戦をするのではなく、厳しい現実と向き合って今何ができるのか何が大切なのかを冷静に見極めること、それこそが優しさであり強さなのだと、考えるようになりました。





Q. 議員となるきっかけは何ですか？

A 確実な政策づくりが進まない、そのことへの憤りは感じていたと思います。人口減少時代に入り、社会保障制度を次代に相応しい制度体系へ大急ぎで対転換しなければならないときでした。しかし必死に働いても、いつこうに政策が前に進まない。そもそも私は、劇的に社会が変化する時代だからこそ、ど真ん中で制度構築に携わりたいと思って、2000年に東京医科歯科大学から厚生労働省に異動しました。数年経つと、政局に左右され必要な制度設計が遅々として進まない壁に直面します。無力感が募る中、今度は閣僚が「官僚は駄目だから僕が指示します」などとブリーフィングする毎日となりました。トップが部下を信頼せず扱き下ろすようでは、組織の志氣は保てませんし生産性も下がります。それまで命がけで頑張ろう！と意気込んでいた同僚さえも見切りをつけ職場を去る状況でした。もはや政治を変えない限り、この国が必要とする新たな社会保障制度を実現することはできない、国民の幸せを守れないという危機意識がどんどん強くなりました。

Q. 医療従事者への国の対応を教えてください。

A 日本の国家予算は102兆6千億ですが、令和二年はすでに二度の緊急経済対策を打っており、事業費ベースで230億円に及びます。また通常国会召集後すぐに三次補正の審議を行いますが、その総額は70兆円を超えてます。この中最も優先されているのが新型コロナウィルス感染症の拡大防止対策に資する盤石な医療体制の確保・充実策です。緊急包括支援交付金、地方創生臨時交付金、予備費活用などによる財政支援の他、労災認定の簡素化、母性健康管理による妊婦等の配置適正化、医療福祉系の学校養成所等における実習等の緩和措置など、看護職のための支援策も広範囲に及んでいます。今後も引き続き、報酬単価引き上げによる恒常的な処遇改善、労働時間や労働環境の改善による看護職の働き方改革、専門人材の広域的な調整と感染症対策に関する研修事業等の創設、物品供給など多くの課題に取り組みます。流行が続く限り、医療者は安心して旅行する気分にはなれず、また家族を守るために家に帰ることすらままならない場合があります。看護職の就業継続には、医療現場への支援のみならず、子育てや介護などの家族支援が不可欠です。またデジタル化の推進は、記録や請求事務の自動化やリモートカンファレンス、オンライン実習など看護現場の業務を刷新するインパクトを秘めています。医療現場が長く抱えてきた課題に大胆に切り込んで、現場を楽にしたいです。様々な不安や困窮状態にある方々への支援や心のケアを強化しなければなりませんが、同時に看護職員のメンタルヘルスも重要です。オンラインカウンセリングや電話相談の需要も大幅に増えています。オンライン家族面接の支援等技術料を求めていく事も考えています。さらに今後の感染制御対策においては、医療施設、在宅、介護施設それぞれの場面で過重な負担が生じないよう具体的な策を講じる必要があると考えています。ひとり一人の頑張りに見合う支援策、地域の実情に合うきめ細かい対策が必要です。新型コロナ対策本部の副本部長として、また政務調査会の副会長として、いのちの最前線に立つ看護職の目線を第一に、心通う政策を実現して参ります。

Q. これから活躍について聞かせて下さい。

A 健康生活の守り手として開業看護師が活躍できる制度設計を実現したいと考えています。これまでにも地域内での看取りを可能にする制度の実現に取り組んできました。人生の最終段階を穏やかに過ごすことができるコミュニティづくりを進めるうえで、地域の隅々で人々の生活に寄り添って健康支援できる看護職のプロ技は欠かせません。今後も、地域全体の健康を預かる専門家として、看護職が存分に役割発揮できる環境の実現に取り組みます。それに伴う報酬単価の引き上げも課題です。引き続き、看護職の処遇改善のためにがんばります。

Q. 福島の看護職にエールをお願いします。

A 皆様と一緒に活動できることを誇りに思っています。参議院自民党は東北選出議員が極端に少なく、全国から選抜される比例代表ではなおのこと東北出身者が議席を獲得できている割合は下がります。看護職として当然取り組むべき政策課題の中には、雪の降る地域の声をしっかりと届けることも含まれています。とくに災害時は、大事な命を守りきるための見極め、現場感覚が極めて需要。今回の豪雪被害についても、激甚災害指定できないか検討中です。看護の心や技術はあっても、物資やエネルギーが滞れば守れる命を守れない。こうした現実を直視し、福島県内各地で活躍する看護職の声をしっかりと聞き届けることができる同志でありたいと思います。

仲間の支えや勇気があればこそ、それをエネルギーに変えてがんばれます。こうしてともに活動させていただけることを誇りに思いますし、心から感謝しています。皆様の元気がなくなると私も減速してしまうので、これからもぜひ皆様ご自身を大切に労わっていただき、そうして蓄えたエネルギーを結集させて、一つ一つの結果を出していければと思います。これからもともに頑張っていきましょう。



ブルーは凜とした強さの色 そして温かい色

担当／安田青年部副委員長(広報担当)

青年部より



皆さんのたかがい議員のイメージはどんな人でしょうか?
普段ブルー系の服を着用しているためにクールなイメージを持つ人もいるのではないでしょうか?
しかし今回のリモート取材で、ご自身の生活についてにこやかに話す姿や、「看護」について穏やかに話す姿に触れ、温かな人柄を知ることができました。看護や看護職に對し強く、熱い思いを持っている方という印象でした。



Q. 米国大統領選の盛り上がりを見て、日本人の政治的関心の低さが気になります。

A 政治は誰か特別な人がする事ではなく、自分事だと理解する事が重要だと思います。ひとくちに政治と言つても様々な拡がりがあります。連盟活動に関して言えば、何かワクワク楽しそうだな、と周囲を惹きつける魅力を備えることが大事。今の看護があるのは、看護職自身が勇気を持って立ち上がり、目標に向かって情熱を傾け続けたから。会員の情熱こそが組織を活性化させる原動力ですね、それを未来へ繋ぐことを考えてはどうでしょう。

安田

自分自身、青年部副委員長として連盟活動をするにあたって、歴代青年部の方々との活動で多くを学びました。人としての生き方や感謝することの大切さです。

一人一人の活き活きとした活動は周囲の関心を高め・広め・受け継がれます。是非一緒に活動しましょう!

<新年交礼会が中止となりました>

私たち青年部が中心となり、新年交礼会・政策ミーティング開催の準備を進めておりましたが、緊急事態宣言の再発令により中止となりました。

今後、改めて、たかがい議員の講演会を企画したいと思っております。詳細が決まりましたら広報誌やホームページ等でお知らせいたします。その際はぜひご参加ください。

新年のごあいさつ

大島 敏子

日本看護連盟会長



謹賀新年

COVID-19の感染に終始した1年でしたが、看護職が各自の立場で最善を尽くしたこと、心からの敬意と感謝を送ります。戦いは続いていますが、もう一息、国民と共に頑張りましょう。

昨年の課題であったスローガンの更新とPR動画やポスターの作成、広報ツールの見直しとblock戰略会議を各県からblock開催にしました。次回参議院選挙候補予定者は、委員会規約を見直し今年の総会でご承認いただく予定です。

今野 静

福島県看護協会会长



新年あけましておめでとうございます。

私は「団」を今年の一文字としました。

「団」は「まるくまとまる。ひとかたまりに集まつたもの。」という意味です

今、看護連盟と看護協会が、まるくまとまり、ひとかたまりになり活動しなければならない時期(年)と考えたからです。

日本看護協会では2040年を視野に入れ、看護職の役割や看護職の働き方等に関する数多くの政策提言をしているところです。人々の健康な生活や看護職にとってどれも重要なものです。

看護連盟・看護協会が意思を同じくし、

丑年は、大地に足を下ろし、協会が連盟を創設した原点回帰の1年にしたいと考えます。本年も宜しくお願ひ致します。

今年の一文字は「団」です。巡り巡って元に戻ることを表し、その時々に確実に処理や解決をしておかないと、後々まで影響を及ぼすという連盟運営の自戒を込めました。



政策提言を実現させるために、どのようにすべきか、組織代表の国会議員の皆様とどのように連携を図るかを考え活動しなければならない時と思ったからです。

今年もよろしくお願ひいたします。



あべ
俊子

衆議院議員



石田
まさひろ

参議院議員



木村
やよい

衆議院議員



新年明けましておめでとうございます。令和三年の新春を迎えるにあたり、ご挨拶させていただきます。

昨年以来、様々な分野の総力を結集して新型コロナウイルスと戦って参りました。医療崩壊を起こすことなく、新しい年を迎えることができましたのも、看護職皆さまのご尽力によるものと、感謝申し上げます。

本年、わたしは「誠」の字を胸に、進んで参りたいと思います。今のような有事の際には、社会的に弱い立場にある人々は、大きなしわ寄せに苦しむことになります。政治を志した際の「政治は弱者のためにある」という固い決意に

「誠実」に向き合い、活動して参ります。

いつの時も、現場の皆さまの声が政策立案の基本となります。看護の更なる発展を、国政からお支えすることを誓い、新年のご挨拶とさせていただきます。

今年の一文字

誠

福島県看護連盟の皆様、苦難と不安の2020年が過ぎ、新たな年を迎えました。しかし年末年始、多くの方がご家族やご親族と一緒に会せなかつたことと拝察いたします。それどころか、職場で年を明かした方もいらっしゃることでしょう。新型コロナウイルスは世界を混乱に陥れ、なおかつ看護の現場を直撃しました。いつ感染するかもしれないという緊張感、感染してしまった時の家族への痛みの予感、ぎりぎりの人員のやりくりなど、皆様のご苦労を数え上げたらきりがありません。福島県の医療・介護は皆様の献身的なご尽力に支えられ、かろうじて機能しています。心から感謝申し上げます。

「今年の一文字は?」という問い合わせに対して、私は「支」を選びました。現場を「支」えてくださっている皆様を、私がお「支」えしなければならないという強い思いからです。

「明けない夜はない」といいます。過去、感染症は幾度も人類を襲いました。しかしその度、医療者の血の滲むような努力がそれを克服してきたのも事実です。看護師の国会議員として私も、皆様が笑顔で「今日もいい看護ができた」と言っていただけるよう必死で働きます。

念頭に当たりお約束申し上げます。

今年の一文字

支

こんにちは木村弥生です。コロナの中で大変な思いをして頑張っておられる全ての看護職の仲間たちに、心からのエールをお伝え申し上げます。

さて「今年の漢字一文字」。三文字だったら迷わず「慰労金」です。6月の第二次補正予算で看護職への直接手当(慰労金)を実現したことは何よりの誇りです。皆さまのお手元に届いてますか。何かありましたら、お知らせください。

一文字だったら「換」です。ステイホームで価値観の転換—パラダイムシフトが起きました。経済一辺倒ではない、人と人との繋がり、

幸福感の追求があらためて見直されました。「換」気を心掛け、お互い健康に留意してまいりましょう。

看護職の代表として皆さまの安心をお守りできるよう、これからも頑張ります。

今年の一文字

換

活動報告

1 役員・支部長管理者研修

2020.10.16(金) 14:00~15:30
けんしん文化センター 参加者28名

テーマ：「コロナ支援が届くまで」

講 師：福島県議会議員 鈴木 優樹 氏

● 内容

国第1次・第2次補正予算による交付金については県議会で早い段階で承認されている。慰労金や危険手当など申請手続きが必要となるため、実際に現場に支給されるまでには時間がかかる。しかし確実に受け取っていただきたい。医療従事者のコロナ禍での努力は広く評価されている。

人々が距離を取るソーシャルディスタンスは、本来はフィジカルディスタンスであり、今まで以上に人と人は心の距離は縮めていかなければならない。



2 県南地区 看護責任者訪問

2020.10.21(水) 9:00~16:00

訪問者：会長・幹事長・地区幹事4名で9施設を訪問し、新規会員増や加入継続のお願いをしてきました。また、介護職員と看護職員の処遇に関する問題や、潜在看護師研修への要望を伺いました。今後、看護協会との懇談会や要望書作成で活用していきます。



訪問施設／①塙厚生病院 ②久慈の郷 ③白河病院

④白河厚生総合病院 ⑤白河厚生総合病院附属高等看護学院 ⑥公立岩瀬病院

⑦公立岩瀬病院附属高等看護学院 ⑧南東北春日リハビリテーション病院 ⑨須賀川病院

*快く対応いただきました看護責任者様方に心より感謝申し上げます。

3 北海道・東北ブロック戦略会議

2020.10.22(木) 13:30~16:00

場 所：アパホテルTKP仙台駅北

● 内容

①会員確保への取り組み「現状と課題」

②次期参議院選挙について

*大島敏子日本看護連盟会長や常任幹事と、ブロック各県会長・副会長・幹事長が参加し
(一部リモート)活動戦略について協議しました。

第9回連盟クイズ

コロナ対策などで忙しい日々が続いていますが、

健康に留意し、頑張っていきましょう。

今回は、頑張っているあなたへ、豪華牛肉を2名様にプレゼントいたします。

美味しいお肉を食べて、明日への活力にしてください。

また、寒い日が続いているので、

温かい飲みものを飲んで心も温まりましょう。

スターバックスコーヒーギフト券を10名に差し上げます。



人生(いのち)の作詞・作曲者名は?
当てはまる番号を選んで応募してください。

ヒント●たかがい議員のインタビュー記事をヒントにお答えください。

- A.たかがい恵美子 参議院議員
- B.石田まさひろ 参議院議員
- C.あべ俊子 衆議院議員
- D.木村やよい 衆議院議員



応募方法 ● このページのQRコードからアクセスまたはハガキにて必要事項をご記入の上
ご応募ください。

<必要事項> ● 1.クイズの答え 2.郵便番号 3.住所 4.氏名 5.電話番号 6.勤務先

応募宛先 ● 〒963-8871 郡山市本町1-19-8生天目ビル1階 福島県看護連盟 宛

締切 ● 2021年2月28日(日)当日消印有効

当選発表 ● 三月中に賞品を発送した上で、次号の広報誌にお名前を発表します。

※当選者は福島県内に在住または勤務の方に限らせていただきます。

会員・非会員は問いません。



第8回クイズ 応募総数92名 当選者の皆様おめでとうございます!

福島のチョコレート
詰め合わせ

近内 恵里子様 渡辺 晓人様 稲田 ゆかり様 伊藤 景子様 佐藤 ひろ子様
渡邊 美恵子様 佐藤 弘美様 水上 奈央子様 渡邊 嘉恵様 岩井 美由紀様

たかがい恵美子LINE



SNSにて情報更新中



「届けよう看護の声を!私たちの未来へ」

＜お詫び＞

前回のりれいNo.41において、福島県看護連盟地区・支部一覧の相双支部の羽根田民子さんの紹介顔写真が間違っていました。お詫びいたします。

令和3年度会員募集中!

正会員 年会費／7,000円

しゃくなげ会員(看護職OB) 年会費／5,000円

退職後も会員の継続をお願いします。

編集後記

「新年あけましておめでとうございます」昨年は思いもよらぬ新型コロナウイルス禍で「新しい生活様式」を求められる一年でした。今もなお、医療の現場は大変な状況と思います。このコロナ禍を乗り越え平穏な日常生活を取り戻せるよう早く収束を願います。(高橋)

広報委員メンバー

委員長／矢野 英治(総合南東北病院)

委 員／岩崎 美樹(福島県立医科大学附属病院)

委 員／稻村 真理子(公立藤田総合病院)

委員／高橋 恵子(公立岩瀬病院)